

平成 22 年度
一般 1 期 入 学 試 験 問 題

国 語 (人文学部・科学技術学部)

2月2日 (9:40 ~ 10:40)

注 意 事 項

1. 問題用紙は、試験監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題用紙と解答用紙(マークシート)は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 氏名欄

氏名及びフリガナを記入しなさい。

② 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。

4. **I** **II** は必答。**III** **IV** については、これより一題選択して解答すること。
5. 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしなさい。例えば、**I** の **1** と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように問題番号 **I** の解答番号 1 の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

I	解 答 欄			
	1	2	3	4
1	①	②	●	④

6. 問題用紙は、試験終了後持ち帰ること。

全員必答 必ず解答すること。

I 次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

(三浦雅士「考える身体」による)

問1 傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

①
⑤。

(ア) ショウコ

- ① 議案をシヨウニンする
② 英文をアンシヨウする
③ シヨウメイ書を発行する
④ 契約をカイシヨウする

(イ) モホウ

- ① モギ試験を受ける
② モジを書写する
③ 草木がハンモする
④ モフクを着る

(ウ) チヨウヤク

- ① タイヤクを担う
② 大いにカツヤクする
③ ヤクソクを果たす
④ 英文をホンヤクする

(エ) キゲン

- ① キセキがおこる
② キカンを限る
③ 早くキシヨウする
④ ユウキが出る

(オ) カクゼン

- ① カクトを変えて見る
② 作家のフウカクにひかれる
③ 政治体制をカクシンする
④ 耕地のクカク整理をする

5

問2

傍線部A「それが人間の身体なのだ」とあるが、どのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は6。

- ① 人の身体は他人の動きに同調する性質を持つもので、集団や共同体をつくる基盤になっているのだということ。
② スポーツ観戦は勝敗の行方を見極めるのではなく、競技する選手の身体の動きを見て楽しむものだということ。
③ スポーツを見るものは客観的に見るのではなく、主観的に見るために手に汗を握ってしまうのだということ。
④ 一人の選手の身体の動きが全観衆を同調させられるように、個人の身体は全体を動かす力を持つものだということ。

問3

傍線部B「見ているのは目ではない。身体なのだ」とあるが、どのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は7。

- ① ダンスやスポーツを見ると、ダンサーや選手の目の部分を特に見るのではなく、全身を見るのだということ。
② ものを見るのは目の働きのようにだが、ものに同調しようとする身体の想像力がまず働いているのだということ。
③ ものを見るのは目ではあるが、まず目を支える身体がなければ、目を働かせることはできないのだということ。
④ ものごとを身につけるには、ただ目で見るだけではなく、身体を介して習うことが不可欠なことだということ。

問4 傍線部C「なぜ舞踊と遊戯が神事として誕生したかが分かってくる」とあるが、そのように言えるのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **8**。

- ① 舞踊や遊戯は現在でも神楽や相撲の形で祭りのたびに神前で催されるものになっているから。
- ② 神前で行われる舞踊や神楽は舞台や広場で行われるダンスやゲームと形式が類似しているから。
- ③ 舞踊や遊戯は神にまつわる伝承を共同体の成員である人々が引き継いで守っているものだから。
- ④ 舞踊や遊戯は神前で行われるとき、共同体の人々が身体を介してともに舞い、戦うものだから。

問5 空欄Dに入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **9**。

- ① したがって
- ② ならばに
- ③ すなわち
- ④ まして

問6 本文の内容に合致しないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **10**。

- ① 身体が想像力を持っているから子どもは教えられる前にさまざまなおとを身につけられる。
- ② 人が美しい風景を見に行くのはその美しい風景と自分が一体化できる快さを知っているからだ。
- ③ 保健体育の思想は人間の意識と身体を切り離すことができないものだという観点に立っている。
- ④ スポーツの観戦や舞踊の鑑賞だけでなく音楽や文学も身体を抜きにして語るのは適切でない。

全員必答 必ず解答すること。

Ⅱ

次の文章は、重松清の小説「かたつむり疾走」の一節である。主人公浩樹は高校生。都心の会社をリストラされた父親が郊外の小さな会社に再就職を決めて勤務に出る前夜、父親、母親、そして浩樹の三人で夕食を取っている。これを読んで、後の問い（問1～5）に答えよ。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

問1 傍線部(ア)～(ウ)の語句の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ

選べ。解答番号は **11** ～ **13**。

(ア) 空回りしている

11

- ① 効果がなくむだになっている
- ② 落ち着きがなく浮ついている
- ③ 面白みがなくつまらなくなっている
- ④ でたらめでいい加減になっている

(イ) 割って入りそうな

12

- ① 横から余計な口出しをするような
- ② 自分の意見を入れようとするような
- ③ 立ち入ってきて和みきをこわすような
- ④ 中心に無理に入り込んでくるような

(ウ) 逆境

13

- ① 不安でいらだたしい境遇
- ② 恵まれない貧しい境遇
- ③ 思うようにならない苦しい境遇
- ④ 願いと逆になってしまう皮肉な境遇

問2

傍線部A「もしオフロが黙り込んでしまったら、きっとオレが一人でしゃべりまくるんだろうな、とも思う」とあるが、このときの浩樹の気持ちはどのようなものか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

14。

① おしゃべりな母親が黙り込んだら、父親は無口なので、しゃべるのが自分だけになることを、浩樹は面白くないと思っている。

② 父親が会社をリストラされ、家族を元気づけようと母親が明るく振舞っているのを、浩樹はむだなこととは思っていない。

③ 父親が会社をリストラされたうえに、母親まで沈み込んだら、自分も平常心を保てないだろうと浩樹は不安に思っている。

④ おしゃべりな母親が黙り込みさえすれば、自分も自由になるのが言えるのに、と騒がしい母親を浩樹は苦々しく思っている。

問3 傍線部B「それでも、とにかく、嘘をついたわけじゃない」とあるが、ここでの浩樹の気持ちはどのようなものか。その

説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **15**。

- ① うまく母親を言いくるめることができ得意な気持ちになっている。
- ② 筋の通ったことを言っていると思いついで無反省な気持ちになっている。
- ③ 本当のことを言えないことで自己を嫌悪する気持ちになっている。
- ④ 理由が正当ではないことを知っていて少し後ろめたい気持ちになっている。

問4 傍線部C「オレは黙ってうなずき、茶碗に残った赤飯を口に放り込んだ。ねちゃねちゃと粘つくモチ米の菌触りがうっとうしい」とあるが、この叙述はどのような意味を持っているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから

一つ選べ。解答番号は **16**。

- ① 父親の再就職を祝う赤飯のまずさは、そんな赤飯を作った母親の、家族に対するなげやりな気持ちを象徴する意味を持っている。
- ② 父親の再就職は心から祝えるものではないが、それでも祝って食べる浩樹ら家族の持つ意地の強さを暗示する意味を持っている。
- ③ 赤飯は父親の再就職を祝うものだが、菌触りの不快さは家族の置かれた状況に対する浩樹の気分を反映する意味を持っている。
- ④ 赤飯は父親の再就職を祝って用意されたが、そのうっとうしい味は父親の前途が多難であることを予測する意味を持っている。

問5 傍線部D「言葉の最後は、オレが勝手につくった」とあるが、「言葉の最後」に浩樹はどのような思いをこめているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **17**。

- ① 父親をリストラした会社の曾孫会社に仕方なく再就職する父親にもっと自由になってもよいのではないかと思っている。
- ② 社会の拘束から離れて自由に生きようとしても生きることができない現代の社会のあり方はよくないのだと思っている。
- ③ ホームレスが自由な生き方をしているように先輩たちは見ているが、同調できない幼稚な見方だと思っている。
- ④ 会社をリストラされた父親がとにかく再就職ができてホームレスにならないですんだことをよかったと思っている。

選択問題

Ⅲ・Ⅳ

のうち、いずれか一題を選んで解答すること。

Ⅲ

次の文章を読んで、後の問い（問1～5）に答えよ。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

(茂木健一郎「日常の由来するところ」による)

(注) 1 源氏の五十余巻……—源氏物語の五十余巻を箱に入っただまま、さらに、在中将、とほぎみ、せり河、しらら、あさうづ、など

という物語を一袋に納めて、いただいて帰るうれしさは大変なものだった。今までとびとびに少し読みかじって、話の内容もわからずに、じれったく思っていた源氏物語を、一の巻から始めて、だれにも邪魔されずに、たった一人で几帳の内に伏せて、一冊ずつ取り出して読む気持ちは、後の位も何になるうか。

2 うつくしきもの……—かわいらしいもの 瓜に描いてある幼児の顔。雀の子が、人がネズミの鳴き声をまねて呼ぶと、おどるように来るの。二歳か三歳ぐらいの幼児が、急いではって来る途中に、とても小さいこみなどのあったのを目ざとく見つけて、とても愛らしげな指でつまんで、大人などに見せたのは、とてもかわいらしい。

3 クオリア——感覚ともなう質感。

問1 傍線部A「当時の文学少女の気配を余すことなく伝えている」とあるが、「当時の文学少女の気配」とはどのようなことか。

最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **18**。

- ① 平安時代の少女たちが文学作品によって退屈な日々の生活をまぎらしていたこと。
- ② 平安時代の少女たちが日常にはないものにあこがれて文学作品を求めていたこと。
- ③ 平安時代の少女たちが本当の自分を文学に熱中することでかえって見失っていたこと。
- ④ 平安時代の少女たちが文学作品によって夢のような仮想の世界を描こうとしていたこと。

問2 傍線部B「日常は、文学における忘れがたい成果のゆりかごでもある」とあるが、どのようなことか。その説明として最

も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **19**。

- ① 日常は退屈なものであるが、退屈な日常がなければ心を解き放つ仮想の文学は育たないということ。
- ② 一定の時間の中でなにかのすることを忘れないためにも文学は育まれるのだということ。
- ③ 猥雑な事柄にとらわれた日常を離れ、見つめ直すことで真実をとらえた文学は育つのだということ。
- ④ 日常のささやかなことの中に心に残るものを見出すことですぐれた文学は育まれるのだということ。

問3

傍線部C「その時、少女は、たとえ『源氏物語』を生きることができなくても、『枕草子』を生きることができるようになる」とあるが、どのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- ① 価値を身近なところに見出すことで、夢が叶わなかった少女は、現実の生活に生きがいを見出すことができるようになるということ。
- ② 身の回りの光に気づいた少女は、架空の世界から目を覚まして、現実の世界に初めて目を向けることができるようになるということ。
- ③ 日常と和解して大人になった少女は、ありふれた生活を描いた通俗的な作品の世界にも満足することができるようになるということ。
- ④ 小さなもののよさを知った少女は、長大な小説だけでなく、短小な随筆の断章も味わってたのしむことができるようになるということ。

問4 傍線部D「豊野は腕組みをしてまた黙ってしまった」の中には動詞がいくつ含まれているか。適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ（ただし、補助動詞は動詞に含めない）。解答番号は **21**。

- ① 二つ ② 三つ ③ 四つ ④ 五つ

問5 傍線部E「また「日常」である」とあるが、日常という言葉に「」を施しているのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **22**。

- ① 特に日常という言葉を強調していることを示すため。
② ある観点から見た場合に日常と言えることを示すため。
③ たとえとして日常という言葉を用いていることを示すため。
④ 仮に日常という言葉にしていることを示すため。

選択問題 Ⅲ・Ⅳのうち、いずれか一題を選んで解答すること。

Ⅳ 次の文章を読んで、後の問い(問1～5)に答えよ。

この部分の文章は、著作権法上の問題により、公表できません。

(『宇治拾遺物語』による)

(注) 1 契りて——約束して

2 異遣唐使——ほかの遣唐使

- 3 敢へて——全く
- 4 宿世——前世からの因縁
- 5 難波——現在の大阪市
- 6 控へて——引き止めて
- 7 かなしくて——かわいがって
- 8 手——筆跡
- 9 七大寺——東大寺、興福寺など奈良の七つの大寺院

問1 傍線部A「子を生ませつ」における助動詞「つ」と同じ意味を持つものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **23**。

- ① 「消息やるべし」における「べし」
- ② 「海に投げ入れて帰りぬ」における「ぬ」
- ③ 「魚に乗りて来たるなめり」における「めり」
- ④ 「手をめでたく書きけり」における「けり」

問2 傍線部B「母大に恨みて」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24**。

- ① 夫が妻と幼い子を唐に置き去りにして一人日本に帰ってしまったから。

- ② 日本に帰った夫が唐に残った妻に約束どおりに便りをよこさないから。
- ③ 日本に帰った夫の消息を尋ねてもだれも全く取り合ってはくれないから。
- ④ 待っているのに日本に渡った夫がいつになっても唐に戻ってこないから。

問3

傍線部C「四つばかりなる児の、白くをかしげなる、波につきて寄り来たり」の現代語訳として最も適当なものを、次の

- ①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

25。

- ① 四歳くらいの子どもが、白い波に乗って楽しそうに近くまで寄ってきた。
- ② 四歳くらいの子どもが、白くかわいい感じの波に連れられて寄ってきた。
- ③ 四歳くらいの子どものように見える白い鳥が、波に乗って近寄ってきた。
- ④ 四歳くらいの子どもで、色白のかわいらしい子が、波とともに寄ってきた。

問4

傍線部D「この由を書きやりたりければ」とあるが、「この由」の内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから

- 一つ選べ。解答番号は

26。

- ① 唐から海を越えて日本にきた子どもが魚に助けられてきたので、魚養と名づけられて育てられているということ。
- ② 唐から海を渡ってきた子どもが大人になると、書道にすぐれ、書いた字が七大寺の額になっているということ。
- ③ 唐の海に母親が投げ入れた子どもが無事に海を越えて日本に渡り、父親の手もとで大切に養われているということ。
- ④ 唐の海に母親に投げ込まれた子が奇跡的に助かって日本で成長し、遣唐使になって唐に行くことになったということ。

問5 『宇治拾遺物語』と同じように鎌倉時代に成立した説話集を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 27。

- ① 無名抄
- ② 発心集
- ③ 方丈記
- ④ 徒然草

